

インドネシア

ラジオ・テレビ放送施設改善事業



本事業により整備された放送機材

[借款概要]

承諾額/実行額	7,478百万円 / 7,324百万円
借款契約調印	1990年12月
借款契約条件	金利2.5%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1996年12月

[事業概要]

インドネシアのラジオ・テレビ放送設備のリハビリ・更新を行い、保守センターを新設することにより、放送の質的改善と施設の信頼性向上に寄与するもの。

[評価結果]

本事業はインドネシア全国10カ所の中波ラジオ設備の更新・リハビリ、ラジオ局10局及びテレビ局3局における番組制作設備の更新の他、ジャカルタ保守センター本部及びメダン・ウジュンパンダンの地方保守センター建設からなり、建設工事及び機器据付は1995年に完成した。これにより、ラジオの送信出力が増加し、ラジオ放送の人口カバー率は1995年の92%から96年の93.5%、さらに2000年には96%へと増加している。国营テレビ(TVRI)及びラジオ(RRI)の制作スタジオも更新され、テレビ番組のカラー化も含め、教育・科学技術等多くの番組制作に寄与したとされる。事業完成後の運営・維持管理状況は良好であるが、今後、より高度な技術力の習得や制作能力の向上を図ることが課題となっている。

なお、1999年の省庁再編に伴いTVRIとRRIの所管官庁は旧情報省から財務省に変更されたが、本部及び地方の保守センターの監督責任を早期に明確化するとともに、センターの運営に必要な予算・人員を確保することが必要である。